

我孫子市鳥の博物館調査研究報告第5巻：187-192（1996）

手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅸ —水面（1995）—

平岡 考¹・鶴見みや古¹・大山紀子²・斉藤安行²・百瀬邦和¹

キーワード：鳥相、センサス、手賀沼、千葉県、水面、水鳥

はじめに

手賀沼は千葉県北部に位置する湖沼で、古くから水禽類の渡来地として知られている（黒田1985）。山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館では、手賀沼とその周辺の鳥類の生息状況を把握する目的で共同で鳥類調査を実施してきた。調査では、手賀沼周辺の環境を①ヨシ原、②水田・畑地、③斜面林、④水面の4つに区分し、各環境区分ごとにセンサスをおこなっている（斉藤ほか1992 a、b、斉藤・大山1993、1994、平岡ほか1994、1995）。

本報文では、水面の鳥類センサスについて、前報（平岡ほか1995）にひきつづき、1995年1月から12月までの結果を報告する。

調査地と方法

手賀沼は北部と南部の二つの沼からなり、それぞれ本手賀沼、南部手賀沼と呼ばれているが、調査は本手賀沼の開放水面を対象におこなった。本手賀沼（以下「手賀沼」と呼ぶ）は、開放水面の面積が約360haの東西に細長い水域である（図1）。

表1 調査日時と天候

年月日	天候	調査時間
1995年1月13日	快晴	8:48-10:28
2月15日	曇	8:45-10:30
3月15日	曇	8:36-10:15
4月13日	快晴	8:30-9:55
5月19日	晴	8:31-9:50
6月13日	小雨のち雨	8:34-9:40
7月13日	曇	8:34-9:40
8月8日	快晴	8:35-9:33
9月13日	晴	8:35-10:00
10月17日	晴	8:33-10:05
11月15日	晴（風強し）	8:31-10:10
12月19日	曇時々小雪、小雨	8:40-11:40

〒270-11 千葉県我孫子市高野山115 （財）山階鳥類研究所

〒270-11 千葉県我孫子市高野山234-3 我孫子市鳥の博物館

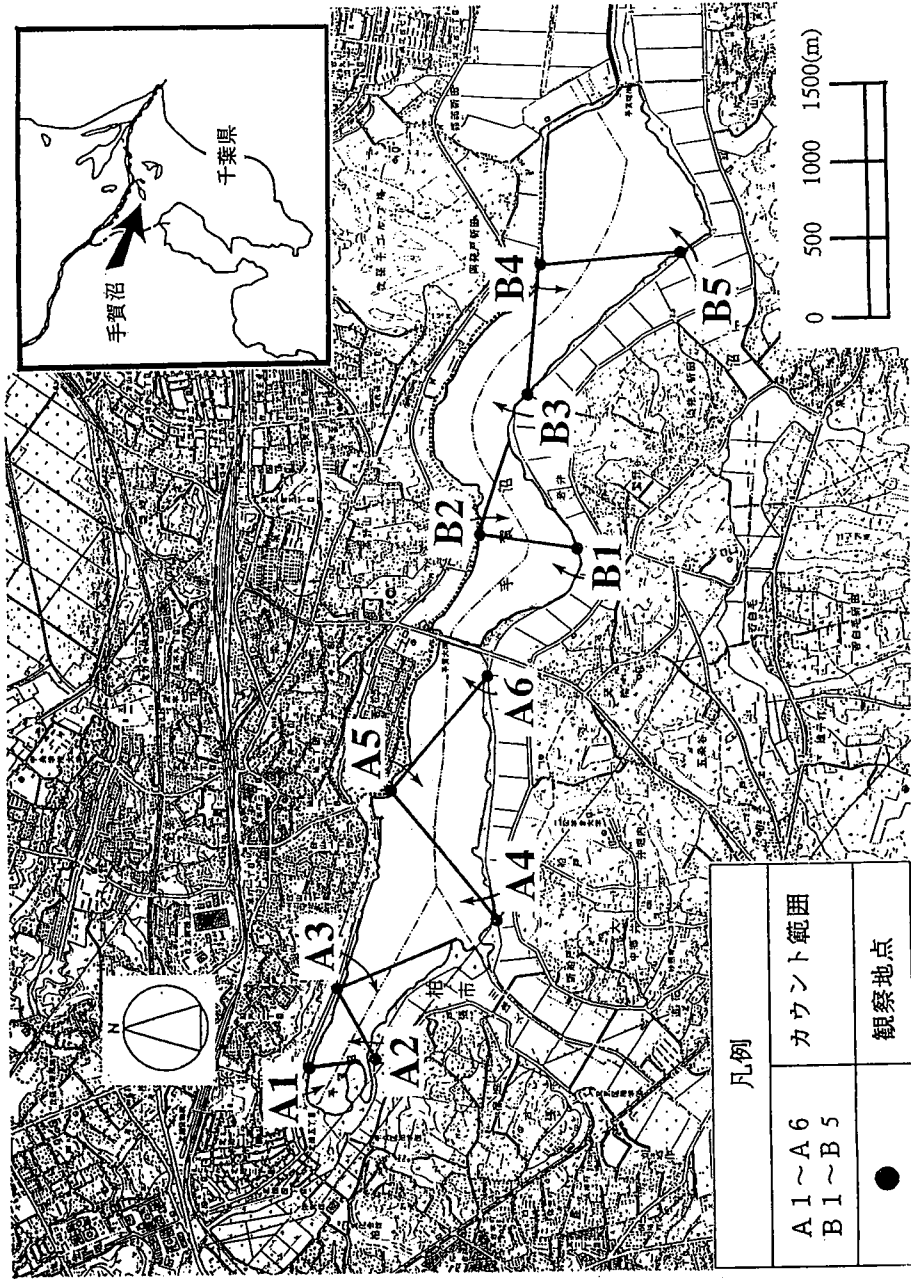


図1 調査地位置図
注：この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図（取手、流山）を使用したものである

センサスにあたり重複カウントを防ぐため、対岸の観察地点を直線で結んで手賀沼の水面をA1～A6とB1～B5の11区画に分けた(図1)。4班に分かれた4～5名の調査者が沼兩岸の観察地点を移動しながら、それぞれ受け持ちの区画で、定点から出現した鳥種と個体数をカウントし記録した。カウントにあたっては、可能な限り、対岸の調査班と時間を合わせ、また事後の調整によって境界線付近の鳥の移動によるカウント誤差を少なくするように努めたが、飛行あるいは小群の遊泳等による移動は無視した。

カウントの対象としたのは開放水面に出現した個体のみであり、抽水植物群落に出現したものと上空を通過しただけの個体は含めなかった。ただし、水面上を飛んでいる鳥で水面を利用していると考えられるもの(カモメ科など)と開放水面中に設置された漁網や杭の上の個体は含めた。また水位変動により冠水する抽水植物群落の縁の砂地や中州の上の個体も含めた。各区画の記録をすべて合計し、手賀沼の水面における各月の生息個体数とした。調査は毎月1回行い、おおむね午前8時30分から始め午後12時までで終了した。表1に調査日時と天候を示す。観察にあたり、双眼鏡(7～10倍)と地上望遠鏡(20～60倍)を用いた。

なお、観察ポイントA6の背後のヘドロ沈殿用の池にはカモが少数入ることがあったが、集計には含めなかった。

結 果

表2にセンサスの結果を示す。1年間に8目13科41種の鳥類を確認した。種の確認ができなかったものがカイツブリ科とカモ亜科(カモ類)にあった。

確認種数と総個体数の月変化をそれぞれ図2と図3に示した。種数は、最小8種(6月)から最大25種(1月)までの間で変化した。総個体数は、最小166羽(6月)から最大2891羽(2月)まで大きな変化が見られた。

種ごとの各月の個体数を1年間累計したものを表3に示す。もっとも多かったのはカルガモの3872羽で、つづいてマガモ(1178羽)、オオバン(1156羽)、ハシビロガモ(1133羽)、コガモ(1096羽)、ユリカモメ(955羽)と続く。

夏期(6月、7月、8月)および冬期(1月、2月、12月)の累積総個体数にしめる各種の優占割合を求め、図4に示した。冬期の上位5種はカルガモ、マガモ、ハシビロガモ、オオバン、コガモだった。また、夏期の上位5種はカワウ、カルガモ、コアジサシ、カイツブリ、オオバンだった。

引用文献

- 黒田長久. 1985. 水鳥の里・手賀沼; 我孫子移転にあたって. 山階鳥類研究所報告 17: 3-8.
- 斉藤安行・百瀬邦和・平岡考・鶴見みや古・大山紀子. 1992 a. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅰ—ヨシ原、水田・畑地、斜面林(1988-1991)—我孫子市鳥の博物館調査研究報告1: 43-59.
- 斉藤安行・平岡考・百瀬邦和・鶴見みや古・大山紀子. 1992 b. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅱ—水面(1988-1990)—我孫子市鳥の博物館調査研究報告1: 61-73.
- 斉藤安行・大山紀子. 1993. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅲ—ヨシ原、水田・畑地、斜面林(1992)—我孫子市鳥の博物館調査研究報告2: 25-34.

表2 手賀沼鳥類センサス結果—水面— (1995年)

種名	月/日											
	1/13	2/15	3/15	4/13	5/19	6/13	7/13	8/8	9/13	10/17	11/15	12/19
カイツブリ	51	51	19	22	14	13	7	52	43	39	27	31
ハジロカイツブリ	12									1	14	15
カンムリカイツブリ							1		2	1	4	5
カイツブリ科sp.											1	1
カワウ	36	35	37	55	65	71	63	21	10	45	65	47
ヨシゴイ						1						
ゴイサギ	3	5				1		1				
ダイサギ	2	3	3	3			6	15	25	11	5	4
チュウサギ								1	5			1
コサギ	4	5	7	1			1	18	31	32	2	3
アマサギ									11			
アオサギ	12	29	14	1	1		7	14	36	18	10	27
コブハクチョウ	5	6	8	2	7	8	5	6	7	1	6	5
マガモ	154	525	266							8	121	104
カルガモ	748	1088	712	240	24	36	22	95	130	212	290	275
コガモ	251	175	142	237					2	102	36	151
オカヨシガモ	83	25	23								162	74
ヒドリガモ		2	4		1							
オナガガモ	151	250	25								7	45
ハシビロガモ	222	312	248	43							63	245
ホシハジロ	23	30	20	1						2	43	17
キンクロハジロ				1						1		10
スズガモ			1									
ミコアイサ	43	29	2	1								42
カモ科sp.	2	8	2							10		
バン	4	4	11	4	2			2	5	2		3
オオバン	152	213	199	73	24	27	16	17	66	61	88	220
シロチドリ		1							4			
トウネン									1			
ハマシギ												2
イソシギ									1			
ユリカモメ	90	88	179	146	2				16	60	141	233
セグロカモメ	2	3	4	1								7
カモメ	1	1										
アジサシ									4			
コアジサシ				1	14	9	73	33	40	1		
カワセミ	1		1					1				
ツバメ					2							
ハクセキレイ								1	2			
セグロセキレイ	1											
スズメ								2				
ハシボソガラス	5	3	7	1			1	2	4	8	9	4
ハシブトガラス	25											
個体数合計	2083	2891	1934	833	156	166	202	281	445	615	1094	1571
種数	25	23	22	18	11	8	11	16	21	18	18	24

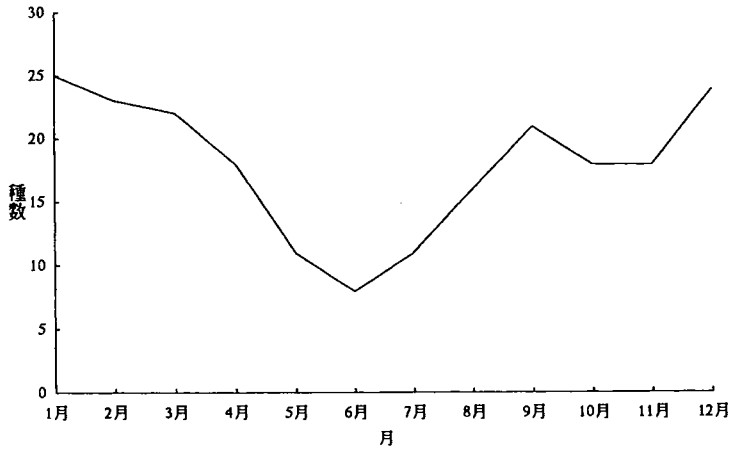


図2 種数の月変化

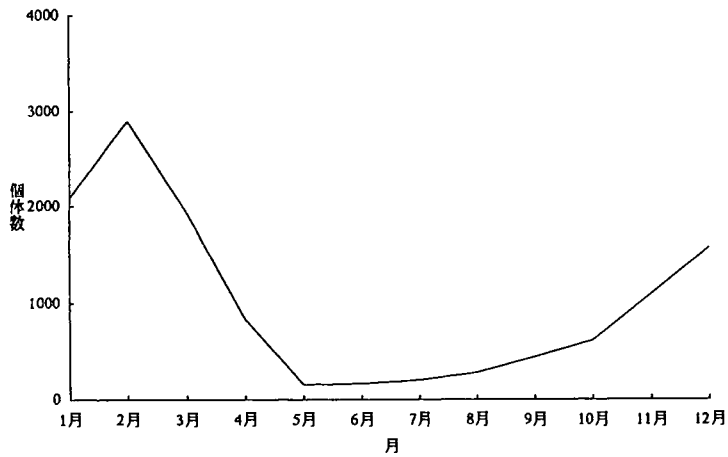


図3 個体数の月変化

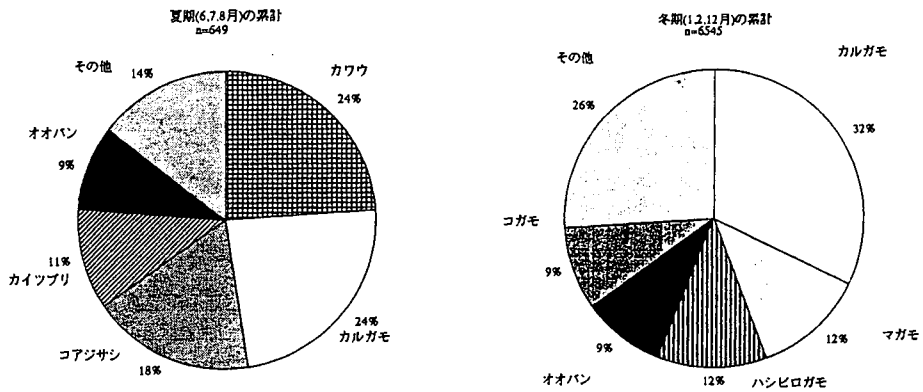


図4 夏期と冬期の優占種

表3 種別年間累積個体数

順位 種名	累積個体数	順位 種名	累積個体数	順位 種名	累積個体数
1 カルガモ	3872	16 タイサギ	77	31 アジサシ	4
2 マガモ	1178	17 コブハクチョウ	66	32 カワセミ	3
3 オオバン	1156	18 ハシボンガラス	44	32 ハクセキレイ	3
4 ハシビロガモ	1133	19 ハジロカイツブリ	42	34 カイツブリ科sp.	2
5 コガモ	1096	20 バン	37	34 ハマシギ	2
6 ユリカモメ	955	21 ハシブトガラス	25	34 カモメ	2
7 カワウ	550	22 カモ科sp.	22	34 ツバメ	2
8 オナガガモ	478	23 セグロカモメ	17	34 スズメ	2
9 カイツブリ	369	24 カンムリカイツブリ	13	39 ヨシゴイ	1
10 オカヨシガモ	367	25 キンクロハジロ	12	39 スズガモ	1
11 コアジサシ	171	26 アマサギ	11	39 トウネン	1
12 アオサギ	169	27 ゴイサギ	10	39 インシギ	1
13 ホシハジロ	136	28 チュウサギ	7	39 セグロセキレイ	1
14 ミコアイサ	117	28 ヒドリガモ	7		
15 コサギ	104	30 シロチドリ	5	合計	12271

斉藤安行・大山紀子. 1994. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅳ—ヨシ原、水田・畑地、斜面林（1993）—我孫子市鳥の博物館調査研究報告3：71-79.

平岡考・斉藤安行・百瀬邦和・鶴見みや古・大山紀子. 1994. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅴ—水面（1991-93）—我孫子市鳥の博物館調査研究報告3：81-89.

平岡考・大山紀子・斉藤安行・百瀬邦和・鶴見みや古. 1995. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅶ—水面（1994）—我孫子市鳥の博物館調査研究報告4：55-60.

Bird Census Report for Tega Marsh and Surrounding Areas IX 1995 Water Surfaces

Takashi Hiraoka¹, Miyako Tsurumi¹, Noriko Ohyama²,
Yasuyuki Saito² and Kunikazu Momose¹

The Abiko City Museum of Birds and the Yamashina Institute for Ornithology conduct regular surveys of the avifauna in the Tega Marsh region. Birds habitats are divided into four basic categories, water surfaces, reedbeds, farmlands (including both wet rice paddies and dry fields) and woodlands. This report summarizes the water surface data for 1995. Surveys were conducted regularly throughout the year, and a total of 41 species in 13 families and 8 orders were identified. The smallest number of species (8) was recorded in June, and the largest number (25) in January. The smallest number of individuals (166) was recorded in June, and the largest (2891) in February. Spot-billed Duck was the most numerous species (3872), followed by Mallard (1178), Coot (1156), Shoveler (1183), Green-winged Teal (1096) and Black-headed Gull (955).

KEY WORDS: Avifauna, count survey, water surface, Tega Marsh

1. Yamashina Institute for Ornithology, Kohnoyama 115, Abiko, Chiba Pref., 270-11 Japan.

2. Abiko City Museum of Birds, Kohnoyama 234-3, Abiko, Chiba Pref., 270-11 Japan.